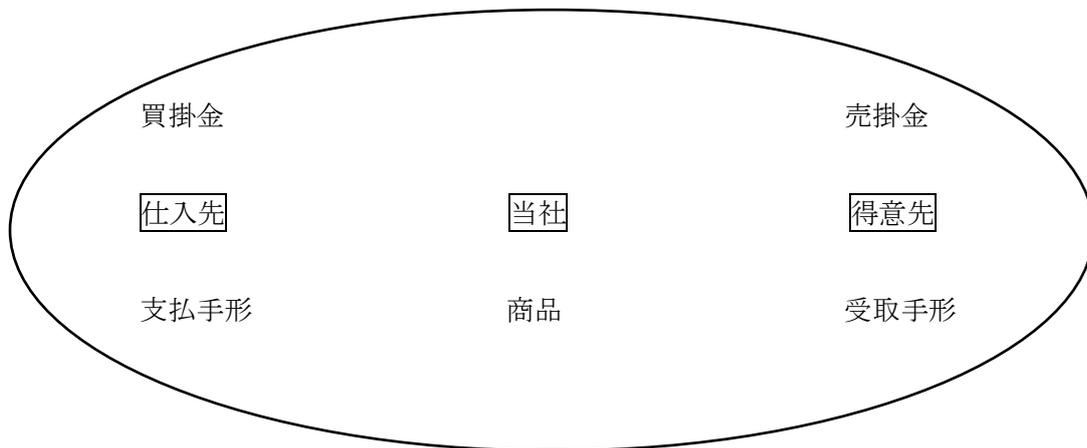


ビジネス会計検定（入門講座）

1. 貸借対照表

資産の部	I 流動資産	I 流動負債	負債の部
	II 固定資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他の資産	II 固定負債	
	III 繰延資産	I 株主資本 II 評価換算差額 III 新株予約権	純資産の部

流動項目と固定項目の分類基準
 正常営業循環基準→1年基準



なぜ分類するのか？

企業の財産状態を詳しく把握する為

【安全性の分析】

- ・短期の安全性を分析する

$$\text{流動比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$$

$$\text{当座比率} = \frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}}$$

※当座資産（現預金・受取手形・売掛金・有価証券）
貸倒引当金があれば控除する
（流動資産－棚卸資産）で計算する簡便法もある

※正味運転資本＝流動資産－流動負債（円）

- ・長期の安全性を分析する

$$\text{固定比率} = \frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$$

$$\text{固定長期適合率} = \frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{純資産}}$$

- ・資本構成の安全性分析

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$$

$$\text{負債比率} = \frac{\text{負債}}{\text{純資産}}$$

2. 損益計算書

損益計算書	
I 売上高	…説明は不要ですね
II 売上原価	…事項で解説
<売上総利益>	…取扱商品の収益力を示す。粗利益とも呼ばれる
III 販売費及び一般管理費	…事務所や営業所の経費です
<営業利益>	…営業活動の成果である本業の収益力を示す
IV 営業外収益	…受取利息等
V 営業外費用	…支払利息等
<経常利益>	…利息等の財務損益もあわせた、日常的な経営活動の成果を示す
VI 特別利益	…固定資産売却益など
VII 特別損失	…固定資産売却損など
<税引前当期純利益>	…法人税等の計算の元になる利益を示す
法人税、住民税および事業税	
<当期純利益>	…配当原資の最終利益を示す

売上原価に関しては、商業と製造業（メーカー）では商品勘定を使用するのか、製品勘定を使用するのかという違いがあります。

売上原価の計算過程を示しておきます。

<商業>	
期首商品棚卸高	1,000
当期商品仕入高	15,000
合計	16,000
期末商品棚卸高	2,000
売上原価	14,000

<製造業>	
期首製品棚卸高	1,000
当期製品製造原価	15,000
合計	16,000
期末製品棚卸高	2,000
売上原価	14,000



例えば、電卓を販売している会社を例にしましょう。

電卓を製造している会社は製造業に該当しますので「製品」という科目を、電卓をメーカーから仕入れている会社では「商品」という勘定科目を使用します。

決算が3月末の会社を例にしてみましよう。上記の例では、4月1日に倉庫に1,000円分の電卓の在庫があり、当期に倉庫に15,000円分の電卓が入荷されました。全部売っていた場合は16,000円が売上原価（売上の元になった金額）になりますが、残念ながら2,000円分の在庫が残っていました。という事は売上原価は14,000円だったという訳ですね。

【収益性の分析】

<回転率>

$$\text{総資本回転率} = \frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$$

$$\text{売上債権回転率} = \frac{\text{売上高}}{\text{売上債権}}$$

$$\text{棚卸資産回転率} = \frac{\text{売上高}}{\text{棚卸資産}}$$

$$\text{有形固定資産回転率} = \frac{\text{売上高}}{\text{有形固定資産}}$$

B/SとP/Lを比較した分析の場合

通常B/S項目は期中平均値を使う

<回転期間>

売上債権が売上の何日分（何か月分）あるか？

$$\frac{\text{売上債権}}{\text{売上} \div 365} \quad \text{または} \quad (\text{売上} \div 12)$$

<利益率>

$$\text{売上高利益率} = \frac{\text{利益}}{\text{売上高}}$$

資本利益率

$$\text{総資本経常利益率} = \frac{\text{経常利益}}{\text{総資本}}$$

自己資本当期純利益率（ROE）= $\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$

$$\text{ROEの分解} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} (\text{売上高利益率}) \times \frac{\text{売上高}}{\text{自己資本}} (\text{自己資本資本回転率})$$

$$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}} \times \frac{\text{総資本}}{\text{自己資本}}$$

(財務レバレッジ)

3. 練習問題を解いてみよう

<損益計算書>

I 売上高	120,000
II 売上原価	70,000
売上総利益	50,000
III 販売費及び一般管理費	30,000
営業利益	20,000
IV 営業外収益	5,000
V 営業外費用	12,000
経常利益	13,000
VI 特別利益	1,000
VII 特別損失	4,000
税引前当期純利益	10,000
法人税、住民税及び事業税	4,000
当期純利益	6,000

<貸借対照表>

I 流動資産		I 流動負債	
	120,000		60,000
流動資産合計	120,000	流動負債合計	60,000
II 固定資産		II 固定負債	
有形固定資産	80,000	長期借入金	70,000
無形固定資産	30,000	社債	30,000
投資その他の資産	20,000	固定負債合計	100,000
固定資産合計	130,000	I 株主資本	100,000
III 繰延資産			
社債発行費	10,000	株主資本計	100,000
繰延資産合計	10,000		
資産合計	260,000	負債・純資産合計	260,000

下記の計算をなさい（小数2位未満四捨五入）

①売上高経常利益率

②売上高販売管理費率

③流動比率

④正味運転資本

⑤固定長期適合率

⑥固定比率

⑦総資本回転率

⑧ROE

⑨自己資本比率

⑩財務レバレッジ

<解答>

①売上高経常利益率

10.83%

②売上高販売管理費率

25%

③流動比率

200%

④正味運転資本

60,000 円

⑤固定長期適合率

65%

⑥固定比率

130%

⑦総資本回転率

0.46 (回)

⑧ROE

6%

⑨自己資本比率

38.46%

⑩財務レバレッジ

260%